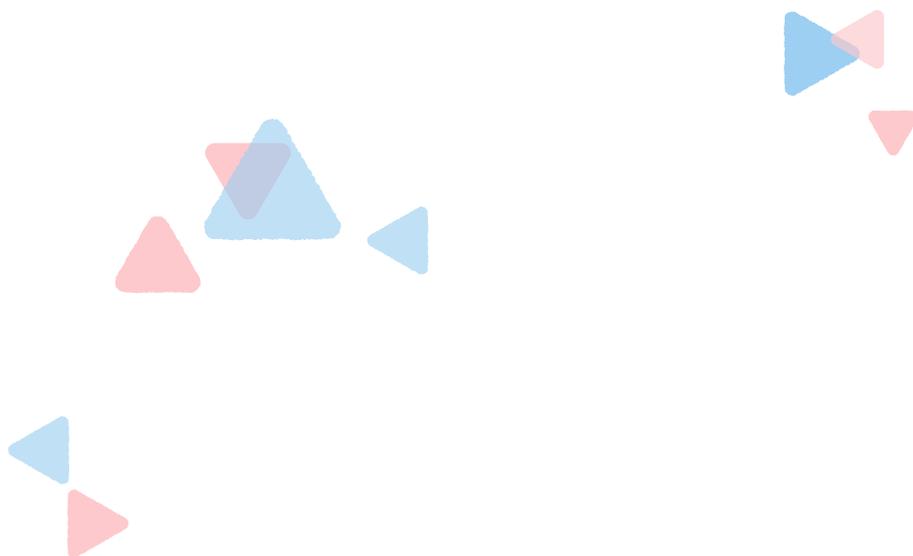


茨城新聞デジタル入稿ガイド



茨城新聞社営業局営業統括部

(2015年1月20日作成)
(2017年10月1日改訂)
(2024年9月3日改訂)

〒310-8686 茨城県水戸市笠原町 978-25 茨城県開発公社ビル
TEL029-239-3011 FAX029-301-0361
E-mail : design @ ibaraki-np.co.jp

■制作環境等 茨城新聞社では、新聞共有化システムの導入にあたり DTP 環境をすべて Windows に統一致しました。

広告原稿の入稿について

入稿されるデータについては、修正の必要がなく組み付け・印刷工程に進められる「完全データ」として入稿されることを前提としています。

データにエラー等があった場合は、不備等をお知らせし、修正後に再入稿していただきます。

入稿締切日	掲載日の 3 営業日前の午前中必着 (土・日・祝日除く)	
入稿先	design@ibaraki-np.co.jp	
アプリケーション	Adobe Photoshop CS2 以上 Adobe Illustrator CS2 以上 Adobe InDesign CS4 以上 (モノクロ原稿は使用不可→ EPS 書き出し (素材の色反転等注意)) 広告データは 制作開始時点から完成まで同一バージョンでの作業 を原則としています バージョンを複数またいで作成・保存した場合、エラーとなる場合があります	
フォーマット (全て CMYK)	Illustrator EPS	Ai データのままの入稿は受け付けていません 掲載サイズでクリッピングマスク を作成し EPS 形式で書き出し (CC までのバージョンに対応 / PostScript レベル 3)
Macintosh版、 Windows 版どちらでも入稿可能。	N-PDF 日本広告業協会の定めた「N-PDF ver.1.2 新聞広告デジタル制作ガイド」に準拠した N-PDF データ。	アートボードを裁ち落としなしの掲載サイズに設定 してください N-PDF 入稿の場合は必ず Adobe Acrobat において、印刷工程▶プリフライトチェックを行ってください。 詳しくは日本広告業協会新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF ver.1.2 をご参照ください。
原稿データ量	ファイル名は 0425 __○○○○○ 半角数字4桁掲載日 アンダーバー クライアント名	
入稿方法	メールでの入稿をおすすめします 添付ファイルが 10MB を超える場合はギガファイル便等で URL を送ってください	
見本 PDF	版確認用に仕上がりと同じ内容の確認用の PDF をサンプルとして同梱 してください (画像の解像度下げ可) 原稿データと確認用データで内容が異なる場合は、原稿データを優先して作業を進行します	
審査	審査を必要とする原稿の場合は 4 ~ 5 営業日前までに送稿してください	

※ **Illustrator EPS か N-PDF にのみ対応**

入稿後は、データを紙面に組み付ける作業に進行します

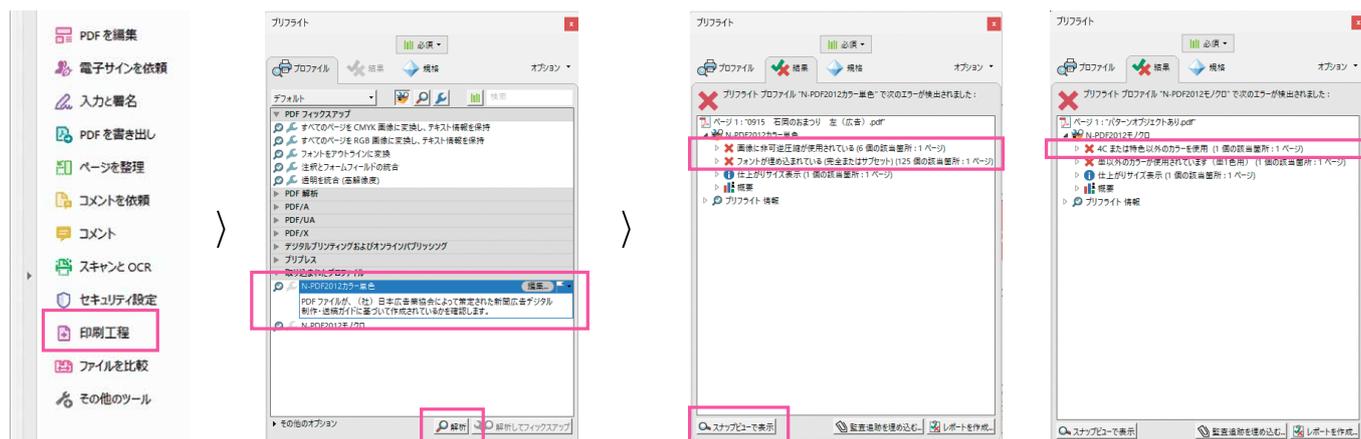
N-PDF プリフライトチェック

入稿する N-pdf データについては

- ▶ Acrobat Pro で開く
- ▶ 〈印刷行程〉 → 〈プリフライト〉 → 〈カラー単色/モノクロ〉 で解析し、データに不備が無いことを確認してください

エラーが残っていると進行できませんので必ずチェックを行い、完全データで入稿してください

✕ エラーの一例



✕ エラーの内容を確認し
修正してください

～
フォントはアウトライン
化してください

～
画像等は適切なカラー
モードや形式で配置し
てください

✕ オブジェクトにパターン
を使用していると
「4c または特色以外のカ
ラーを使用」とエラー表
示されます

～
パターンを使用している
オブジェクトのパターン
を分割・拡張して解消し
てください



エラーがなくなったこと
を確認し入稿ください

入稿データのチェック範囲について

校正ではありません

完全データを前提として
います

データが組み付けに対応し、印刷可能かをチェックします

見本 PDF と同一案件の広告かを確認します

見本と掲載用データを細部まで見比べる**校正ではありません**

見本と相違ある場合、掲載用のデータを優先して作業を進行します

文章、画像、ロゴ、色の扱いなどの正誤のチェックは行いません

カラープロファイルが異なる場合は、原則そのまま作業を進行します

ブラックの表現方法は確認しません (K100/リッチブラック)

印刷範囲外に記入された指示メモや数値など、書き込まれた内容の確認はしません

二次元コードが読み取り可能かどうか、およびサイトの整合性等については確認しません

データが組み付けられなかった場合

データが組み付けられない場合は右記の項目を中心にデータの状態を調べます



データのエラーの内容をお伝えしますので修正後のデータを再入稿してください

調べる範囲

データ量

カラーモード (CMYK/グレースケール)

制作サイズ

1つのファイルに2面付けなどの配置

画像の埋め込みやフォントのアウトライン化

クリッピングマスク (EPS データ)

非表示のレイヤーやオブジェクト

特色指定

必要以上の画像解像度

埋め込み画像のファイル形式 (PSD、EPS、TIFF 以外は×)

パターンの影響の有無

オーバープリント

印刷範囲外のオブジェクト、テキストフレーム、指示書き込み

データに不備が見つかった場合は、制作者様に内容をお伝えし、データを修正していただいたうえで再度入稿していただきます

弊社チェック範囲外の例

RGB やスポットカラーで作成された際の、色や透明部分の変化、オーバープリントによる変化等。

お客様のプリンターで出力した色と実際の印刷の色の違い等。

文字が仕上り位置からはみ出している等。

ヌリタシありなしの制作方法のチェック。

画像の解像度が低い等。

仕上り線を含むかどうかのチェック。

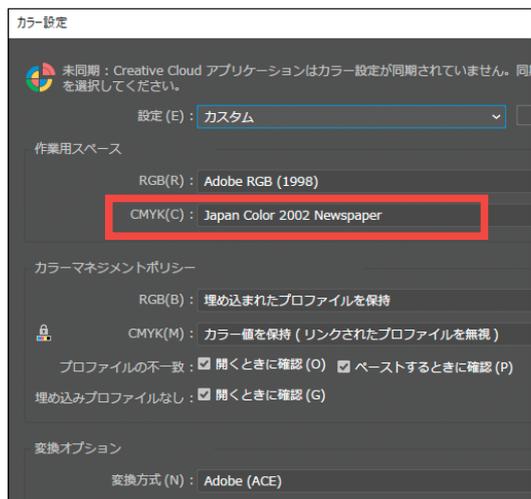
広告内容の誤りなど正誤のチェック。

制作時の注意点

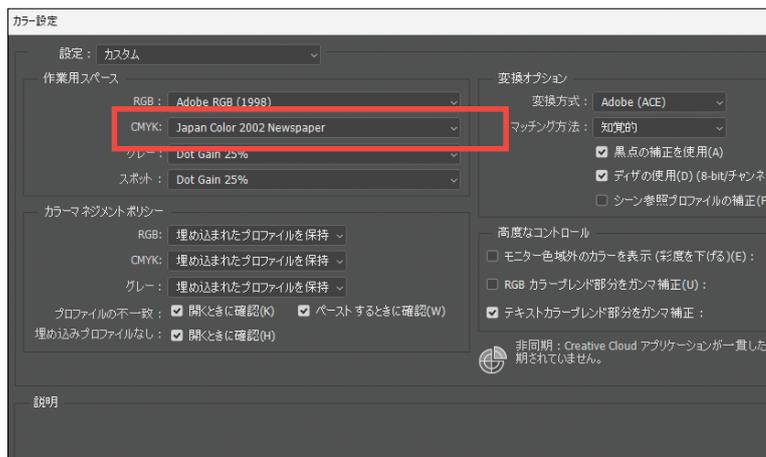
制作時のカラープロファイルについて（汎用）

Japan Color 2002 Newspaper

イラストレーター

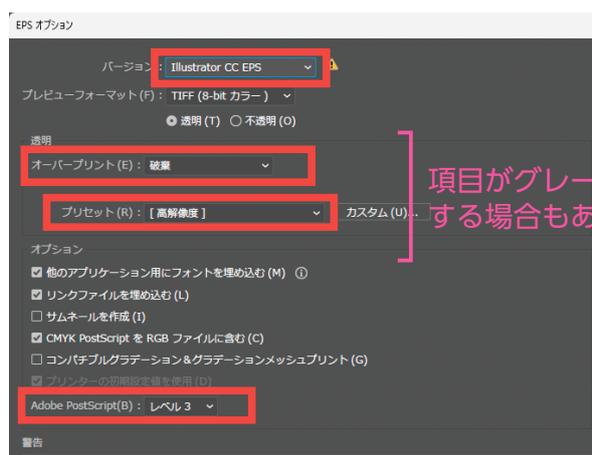
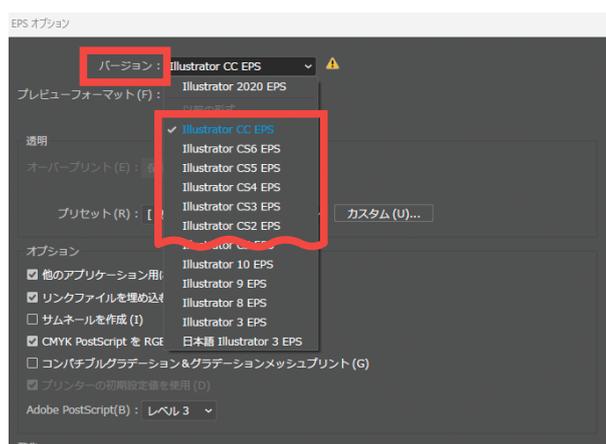


フォトショップ



総インキ量をコントロールしやすくなります

EPS 書き出し時のオプションについて



項目がグレースアウトする場合があります

入稿用データは、バージョン CC まで対応

バージョン下げ保存の場合にエラーが発生することがあるので、チェック済みのデータを入稿してください

保存方法

Illustrator や InDesign で版を制作し、入稿用のデータを作成すると想定していますが、パターンの分割、透明部分の分割・統合などを行う前の、**修正・再編集可能な元バージョンのネイティブデータ**を確実に保存しておくことをおすすめします。

編集が全て終了してからパターン分割や透明部分の処理などの必要な処理を行い、入稿用のデータの**複製を保存**するなど、掲載用のデータを書き出すことをおすすめします。

書き出し後に修正が必要になった場合、ネイティブデータが残っていないと、配置画像などが分割されるなどし、入稿用の PDF では簡単に修正できない場合があります。

フォントサイズ

使用するフォントは 8 Q を最小サイズとしています

これ以下のフォントも設定できますが、印刷で再現できない場合があります

罫線

線幅が 0.1mm に満たない場合は印刷結果がかすれる、印刷されないなど、予期しない結果となる場合があります

画像の適正配置と埋め込み

版面に配置できる 画像の種類	PSD (カラー / グレースケール) EPS (カラー / グレースケール / モノクロ 2 階調) TIFF (モノクロ 2 階調)	jpeg は絶対配置しないでください ICC プロファイルは埋め込まない ください ハーフトーンスクリーンの設定は行いません
画像解像度	画像は 仕上りのサイズで 300dpi 程度 二値画像は 1200dpi とします	解像度が高すぎると運用できない場合があります
画像の埋め込み	配置画像は リンク状態にせず、必ず全て埋め込んでください	

※ Illustrator などレイアウト時の画像の拡大縮小は最小限にとどめ、仕上がりサイズで 240 ~ 300dpi 前後になるように元画像のトリミングなどをしてください

※ 二次元コードを配置する場合は、グレースケールで使用してください (モノクロ 2 階調画像を配置した場合ネガポジ反転する不具合があるため)

モノクロ版制作時の注意

モノクロ広告を制作する際、フィルタや効果などを適用すると、CMYK での生成となりエラーの原因になります
「透明部分を分割・拡張」を行い、「カラーを編集」で CMYK からグレースケールに変換してください

広告罫について

広告罫（版面の最外周の枠）は、線の位置を内側に設定して作成してください。
EPS の場合はクリッピングマスクが作成されていることが前提なので、マスクが作成された範囲を優先して扱います。

制作時、広告罫のはみ出しに注意してください



線の位置が中央の場合、版のサイズが掲載サイズより大きくなってしまい、マスクの範囲からはみ出した部分が印刷されません

※広告罫がない原稿の場合は、広告サイズの透明の枠で囲んでください

その他

クリッピングマスク作成

最終的なデータは掲載サイズで必ずクリッピングマスクを作成してください

フォントのアウトライン

使用するフォントは全てアウトライン化してください
オープンタイプもアウトライン化してください

レイヤー

レイヤーは最終的に1つにまとめてください
オブジェクトのロックとレイヤーのロックは解除してください

オーバープリント

ノセ処理はしておりませんので、原稿にオーバープリントが設定してある場合、正確に印刷できないことがあります
「属性」パレットから「塗りにオーバープリント」のチェックを外してください

パターン、パターンブラシの分割・拡張

パターンやブラシを使用して制作した場合は、必ずパターンの分割・拡張をしてください
パターンやブラシ等が使用されていると思わぬ印刷結果になることがあります

特色について

スウォッチを確認してください
特色の設定が含まれていると入稿できません
特色のスウォッチをダブルクリック→スウォッチオプションを表示→カラータイプをプロセスカラーに変換してください



二次元コード

二次元コードはグレースケールで制作してください
パスの場合は塗りをK100にしてください

ウイルスチェック

入稿するデータはウイルスチェックをしてください

マスクを作成する際は線を透明にし、全てのレイヤー、オブジェクトのロックを解除してから作成してください

印刷しない線、孤立点などは版面からすべて削除してください

トンボ、ヌリタシ、仕上がり線は使用しないでください

ヌリタシが印刷されてしまうことがあります

トンボ等が設定されている場合はトンボで示した範囲外の広告罫が印刷されてしまうことがありますので、削除したデータを再度入稿してください

パスが多く複雑になるオブジェクトはラスタライズしてください

非表示のテキストがアウトライン化されていない場合でもエラーとなる場合があります

注意 弊社では入稿された完全データの修正や補正など、データの加工は一切行っておりません。データに不備があった場合は各制作会社様の責任においてデータを修正していただいたうえで再入稿していただきます。

ただし、各新聞社の紙面サイズに対応するため、版のサイズを各社規定のサイズに変倍して組み付けることがあります。

各種広告サイズ

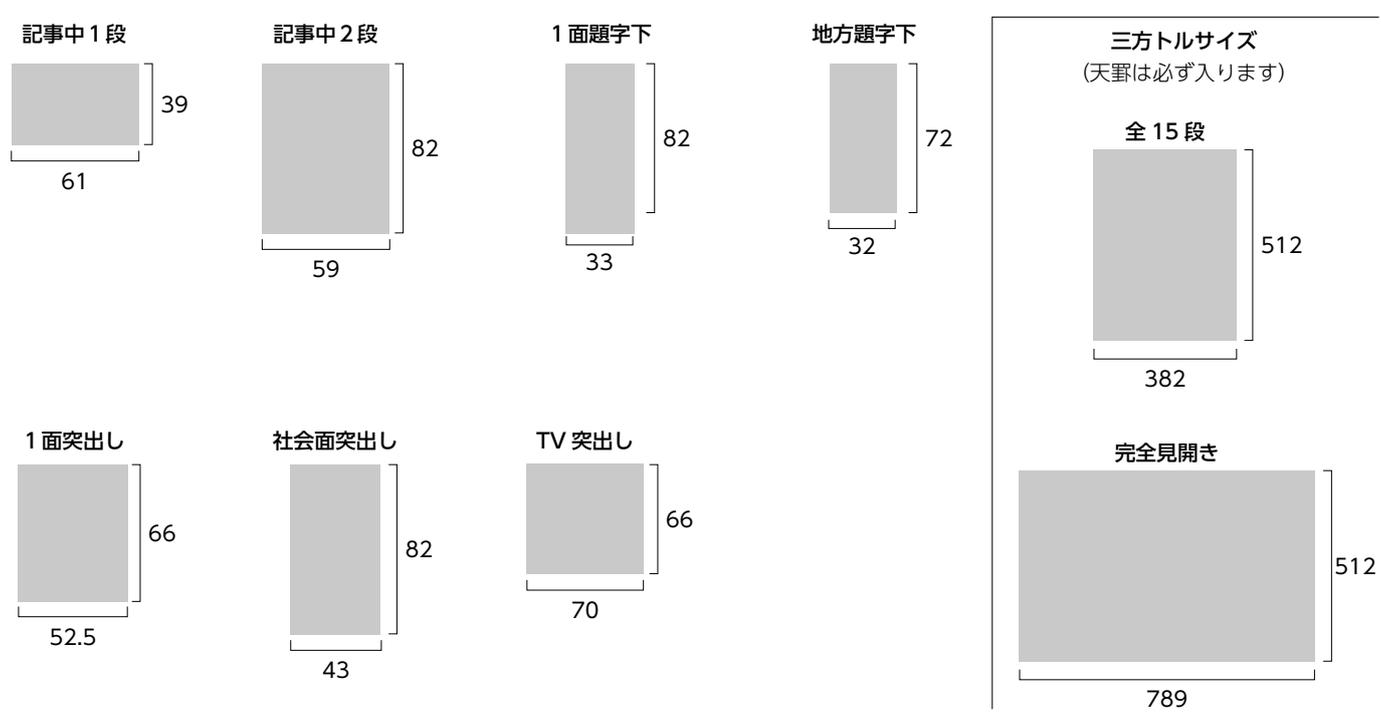
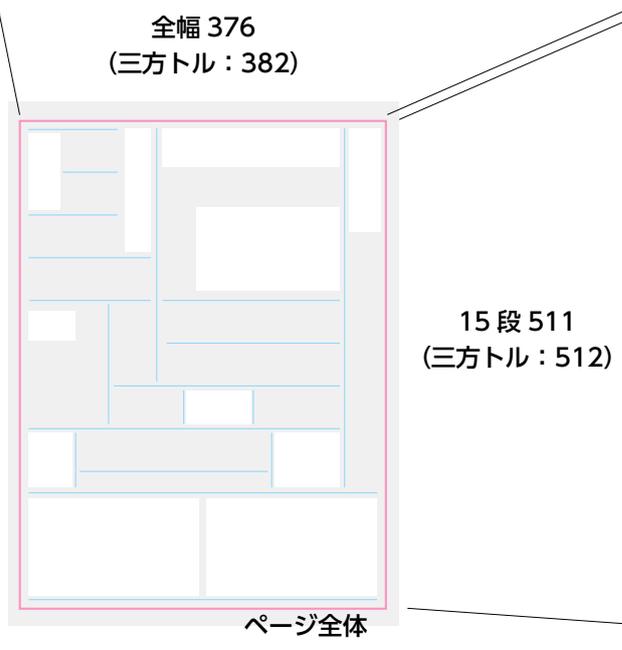
横幅

/mm

見開き	全幅	半	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/10
783	376	186	123	91	72	60	51	45	35

高さ

15段	511
14段	477
13段	443
12段	409
11段	374
10段	340
9段	306
8段	271
7段	237
6段	202
5段	168
4段	134
3段	100
2段	66
1段	32

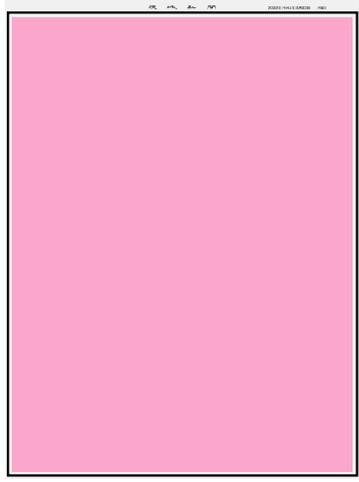


N-SIZE で入稿された場合、弊社運用サイズに拡縮して掲載します

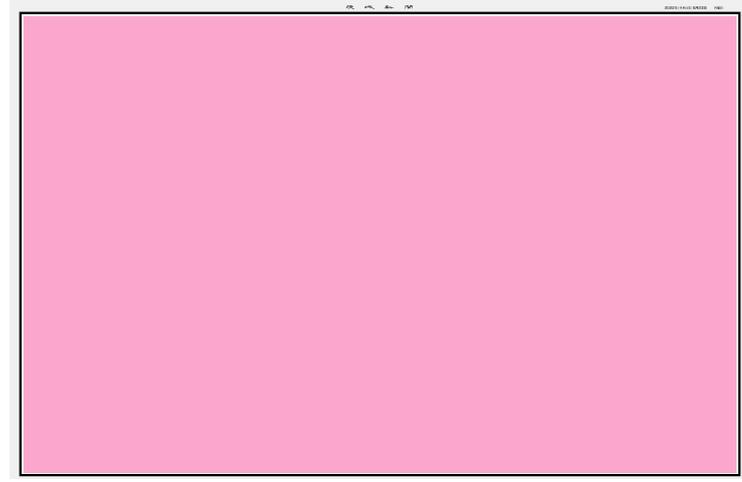
社罫(社巻)とサイズについて ※全広、完全見開きの例

「三方罫トル(三方トル)」の指示がない場合は、必ず社巻で広告を囲みます

社罫アリ
データ領域  : 376 × 511

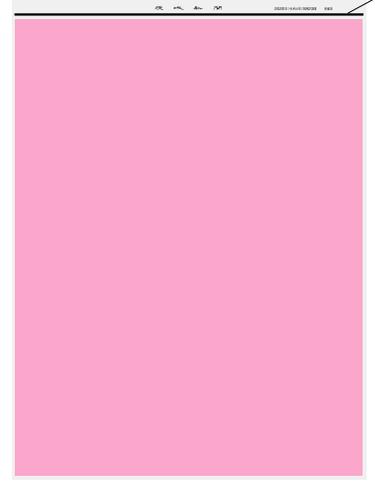


社罫アリ 見開き
データ領域  : 783 × 511



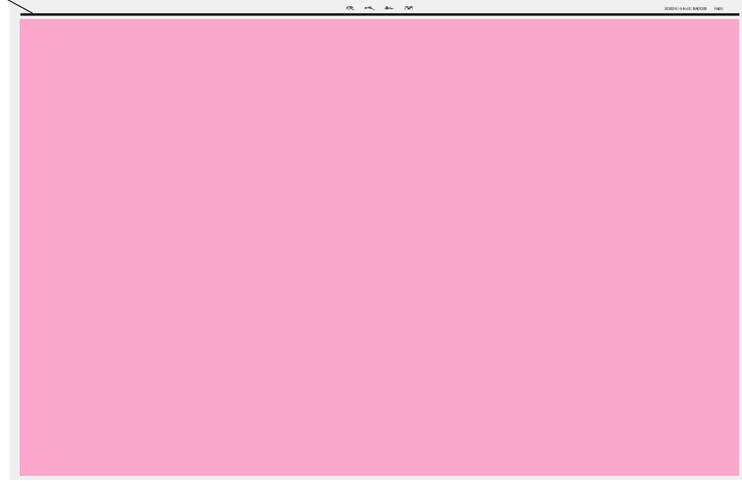
三方トルの指示がある場合は、天罫のみを残して扱います。

三方トル
データ領域  : 382 × 512



天罫

三方トル 見開き
データ領域  : 789 × 512



天罫にはページ番号、日付、紙齢などが記載されます